

福祉の視点を持ち 交通不便地域解消に対策を



公明党 高橋 りょう子

(1) 高齢者支援施策

①高橋) 今尚、市民が振り込め詐欺被害に遭い手口が巧妙化している。被害の実態は。

市) 市民の被害総額は11月末で26件6112万円。

高) 年の瀬を迎え引ったくり被害も出ている。

市長を先頭に全庁上げて注意喚起、対策強化を。

市長) 防災無線や青色防犯パトカー、小金井警察に更なるパトロール強化を求める。

②高) 新聞や乳酸菌飲料、宅配業者の配達等に独居高齢者の見守り支援協力を提案したが。

市) 24時間体制が出来る見守り拠点を検討中。

(2) 市民の安全・安心対策について

①高) 3年がかりの要望「救急医療情報キット」の導入決定。丁寧な記入作業のサポートを。

市) 福祉保健部職員が民生委員と回り、災害時要援護者訪問にもなり記入サポートも考えたい。

②高) 放射能測定は長期に亘り命に関わる重要課題。専任職員配置など慎重に検討すべき。

市) 測定、除染などの対応もあり庁内全体で今後の体制をしっかりと検討する。

(3) 地域公共交通の考え方

高) 交通不便地域北町路線について、再三要望してきたが進捗状況は如何か。

市) ぶんバス実現は予定になく困難。提案の3・4丁目への延長・延伸は事業者と協議継続中。

高) 北町在住市民、高齢者の長期熱望事項。転回場確保、事業者との協議等踏み込んだ努力を。

市) 近隣市との広域連携、転回場所、採算性等バス事業者に出向き実現に向け協議する。

(4) 健康施策、乳幼児の眼科検診について

高) 乳幼児の遠視は8歳までの矯正で視力アップにつながる。早期発見の取り組みを。

市) 就学時検診や入学以降、学校検診の中で検査をするのが良いと考えている。

(5) 国立駅北口に対する行政間連携について

高) 今年5月ロータリー内で交通死亡事故発生。利用者の8割は国分寺市民と聞く。安全対策、J R中央線の立体高架化も含め行政間の連携を。

市) 国立市と立川署間で再発防止の安全策がとられた。安全策、立体高架化も含め連携する。

教育行政の改善や 市財政の課題等について



公明党 木島 たかし

1. 真に必要な都市計画道路は整備すべき

問) 国分寺市の都市計画道路の整備率は？

部長) 20%で多摩26市中ワースト2位である。

問) 多喜窪通りの坂道区間(南町3丁目～泉町1丁目～西元町1丁目)の歩道の安全対策を

部長) 何らかの対応を都に要望していく。

問) 国分寺街道(3. 4. 11号線)の整備は地域住民の声をしっかりと聞き早急に推進を。

部長) 現道の課題や将来のご意向、沿道のまち並み等について、まずアンケートで調査する。

2. 路上喫煙対策の検証を

問) 西国分寺駅南口の喫煙スポットは周辺住民のご要望に応じて撤去すべき。

部長) 十分に認識している。ご迷惑がかからな

いように前向きに取り組んでいきたい。

3. 中学校給食のさらなる改善を

問) 平成19年に開始後これまでの総括は

部長) 現在の喫食率は76% (他の自治体と比較しても高い) 地場産野菜も積極的に使用。お米もブレンド米を単一銘柄に変更。温かい汁物も

月2回ではあるが提供を始めた。

問) 様々な工夫や改善に感謝。他に「カレーが少し冷たい」等の要望もある。改善を求める。

部長) 安全基準や衛生面の課題がある。生徒にも丁寧に説明していきたい。

問) 食育リーダーのさらなる取り組みを。

部長) 総合的な学習の中で充実させていきたい

4. ぶんバスの必要性は依然として高い

問) 全4ルートで年間延べ約95万人が利用。

万葉ルート(史跡周辺)も検討を急げ。

部長) 実現に向けて実車走行を今年度中に行う

5. 泉町に移転予定の都立多摩図書館について

問) 青少年や児童向けのスペースの充実を

教育長) 快適に利用できるように都に要望する

6. 平成24年度予算編成への市長の決意は

問) 厳しい財政の折り、市長は何を成し遂げたいのか? そのためにどう取り組むのか。

市長) ①収支均衡型予算②26年度に経常収支比率80%台達成。そのために市民の命、健康、福祉を守りつつ、経常経費の削減に取り組む。

不登校支援には 個別的・包括的な支援体制を



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

岩永) 学校給食について、放射能の問題等、新たな観点からの不安の声がある。給食の安全を担保するため、

食材調達を選定基準を明文化した基準書を作成せよ。答) 個々の食材の調達基準やアレルギーの問題等も含めて明文化していく必要がある。

岩永) 教育委員会・学校・保護者・子どもが参加して、給食について多様な意見を話し合う場を設定せよ。答) 食育指導と合わせて今まで以上に保護者・児童の意見を反映させていきたい。

岩永) 都市農業と地域住民の共存のために、子どものみならず、大人にも健康被害を及ぼす農薬散布については、周辺住民への配慮が不可欠である。住宅地での農薬散布時に周辺住民への周知を徹底すべき。

答) JAとも協議して、統一チラシを作成する等の具体化を図る。

岩永) 市民から回収した雑古紙をリサイクルして作る再生トイレットペーパー「こくぶんじ育ち」は、仕入値28円、販売価格25円となっている。なぜこのような価格設定になっているのか? 答) 事業の一番の目的がリサイクル意識の啓発であり、利益よりも一定の販売数を確保するため。

岩永) 意識啓発、ごみの分別・減量、リサイクルルートの確保、障がい者の就労支援等、大変有意義な事業であるが、売れば売ると赤字になるという現状がある。販売価格を見直して、販路拡大等を検討せよ。答) 検討する。

岩永) 不登校への支援策としては、原因が様々個別であり、複合的な場合もあることを考えると当事者のみならず、保護者・家庭も含めた包括的な支援が必要である。教育相談室と子ども家庭支援センターの連携により、スクールソーシャルワーク的な機能を持つ支援体制を構築せよ。答) 不登校への支援は教育委員会のみならず、市の大きな課題でもあると認識している。市を挙げて関わっていくべきである。

岩永) 不登校の子どもの学ぶ権利の保障、居場所について多様な選択肢が求め

られている。地域資源を活用し、行政機関における支援以外の個別の支援策の拡充を。答) スポーツやプレイステーション等、様々な地域活動の場を情報提供して参加を促していきたい。

基礎自治体だからこそ 当事者の声を大切に!



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

〈1〉障がい者施策～自立支援給付と介護保険制度との適用関係について

(問) 障害者自立支援法と介護保険法は、法の目的、そして成り立ちも全く違うものである。国の制度では、自立支援給付を受けている方が

65歳になった時には、介護保険サービスを原則優先し、介護保険に相当するものがない障がい福祉サービスについては、市が適切に判断することになっている。当事者にとっては、サービス提供事業者もヘルパーも変わってしまう可能性があり、今までと同じような生活が送れるのか非常に不安な思いを抱いているときく。昨年8月に(仮)障害者総合福祉法の制定に向けて、

当事者を含む55人で構成される総合福祉部会から提言がだされたが、介護保険との関係については、従来からの支援を原則として継続して受けることができるものとするとしている。市民の生活に直結した基礎自治体においては、当事者、あるいはご家族との話し合いを重ねながら、現状を知り、生活の質をいかに維持していくのか、その努力をすることが大事だと考えるが、いかがか。

(答) 当事者の生活実態に寄り添ってサービスをつくっていくことが基本なので、その方にあったサービスをどのように提供していくか相談しながらすすめていきたい。

〈2〉災害時の動物救護体制について

(問) ペットが家族同然に暮らしている現状においては、災害時にはペットも避難所に行きすることを前提に受け入れを考えておくことが必要。新宿区では、獣医師会と協定書を結び、「学校避難所動物救護マニュアル」の中に細かなルールを定め、最低限必要な道具を準備しているとのことだ。国分寺版マニュアル作成を。

(答) 被災地の避難所を回ったが、やはりペットと避難された方は、対応に苦慮されていた。地域防災計画見直し検討委員会の中で、詳細なマニュアル作りについて検討していく。

◆その他、就労支援、介護予防・生きがい活動、放射性物質への対応について提案した。

閉会中の委員会

委員会はどなたでも傍聴できます。

第4回定例会終了後、平成24年第1回定例会までの委員会の開催は下記のとおりです。

平成24年1月12日(木)	総務委員会
1月19日(木)	ごみ対策特別委員会
1月20日(金)	議会運営委員会
1月23日(月)	文教委員会
2月1日(水)	建設環境委員会
2月2日(木)	国分寺駅周辺整備特別委員会
2月3日(金)	厚生委員会
2月22日(水)	代表者会議
	議会運営委員会

※委員会は市役所第1庁舎3階第2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。議事担当(内468)